

冬ー7 スピーチしよう

1. 活動の目的

- ①「私の町」をテーマに短いスピーチをする。
- ②スピーチの心構えを確認し、人前で自信を持って話せるようにする。
- ③仲間のスピーチを聞き、話し合う。

2. 準備するもの (☆は教材ファイルにあるもの)

☆スピーチ例

☆太陽の塔の写真

☆ワークシート (両面コピーで裏面は罫線) (人数分コピー)

- ・大きい紙
- ・サインペン、カラーペン
- ・その他、適宜、手持ちの地図や辞書などを使ってください。

留 事前に、自分の町の紹介のための写真や小物があったら持ってくるよう学習者に伝えておく。

3. 活動の手順 **留**: 留意点 **参**: 参考 **発**: 発展的活動

活動1

・今までに、スピーチをしたことがあるかどうか聞く。日本語以外でのスピーチでも構わないので経験を話してもらおう。

活動2

・自分の町について話す。後でスピーチのトピックを決めるため、名前、場所、有名なものなど、テーマを設定して話す。

活動3

・日本語教室の発表会に参加するという設定で、スピーチの準備をする。スピーチの時間はひとり当たり5分間と設定する。
・何を話すか、2つまたは3つトピックを選ぶ。

参 スピーチ例及びワークシートでは3つのトピックをあげているが、トピックの数やスピーチ時間を学習者に応じて変えるとよい。

(例) 入門レベルなら、スピーチ時間を短くしたり、紹介する内容や文の数を少なくする、よくできる学習者なら、紹介する内容を一つに絞って掘り下げて説明するようにする、など。学習者に合わせた活動にする。グループ内で差があってもかまわない。

活動4

スピーチ例

太陽の塔の写真

ワークシート

大きい紙

サインペン

カラーペン

・スピーチ例と資料 (太陽の塔の写真) を使って、ボランティアがデモ・スピーチを行う。
・文章を考える。必要に応じて語彙や作文の手助けを行う。ワークシートに書き込む。
・絵が必要なら大きい紙に描く。写真や小物を持ってきていれば準備する。

発 よくできる学習者には、ワークシートの文にこだわらず、裏面を使って自分で考えて作文してもらってよい。

活動5

- ・全員の準備ができたなら、くじやじゃんけん等で話す順番を決め、一人ずつスピーチを行う。スピーチに適した話し方（ゆっくり、はっきり、大きな声で、など）にも気をつけるように言う。

活動6

- ・それぞれのスピーチの後に質問タイムをとる。

発 ボランティアも一緒に作文し、スピーチに参加すると尚よい。